

## とっこしょ 独鉢杵が町指定文化財に 指定されました

4月24日付で町教育委員会より、「独鉢杵」が新たに町指定文化財に指定されました。  
文化財の詳細  
・名称:独鉢杵・種別:有形文化財(考古資料)  
・員数:1口・全長:19.6cm

独鉢杵とは、天台宗や真言宗などの密教の儀式で用いられる道具の一つで、古代インドの武器が起源とされています。

今回指定された独鉢杵は、平成27年に四王寺山で参拝者が発見し、宇美町に寄贈されたものです。平安時代後期の11世紀末～12世紀初めごろにつくられたと考えられ、寺に伝わるものを除けば、九州で最古級です。また、通常、独鉢杵には鍍金が施されることが多いですが、この独鉢杵は全国的にも珍しく無鍍金です。今後は町の文化財として大切に保存されます。

現在、歴史民俗資料館で実物が展示されています。ぜひご覧ください。

町指定有形文化財 独鉢杵▶



## 人権擁護委員の日 街頭啓発が行われました

全国人権擁護委員連合会では、人権擁護委員法が施行された6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、今年も全国的な啓発活動を展開しています。町では、6月3日(月)JR宇美駅前広場周辺で街頭啓発が行われました。

人権擁護委員は、町民の皆さんから人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いをしています。また人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

相談を希望する場合は、『心配ごと相談』へ(18ページ参照)



▲人権について関心を持ってもらうため啓発活動が行われました

## タテコウヤグライブ2019& 志免マルシェが開催されました

5月19日(日)、タテコウヤグライブ2019&第7回志免マルシェが、旧志免鉱業所豊抗櫓前の広場で行われました。このイベントは、今年町制施行80周年を迎えた志免町・来年町制施行100周年を迎える宇美町、それぞれ2つの町の周年を記念し、さらに、歴史的文化的価値のある豊抗櫓を広くPRするために開催されました。

ライブのトップバッターを務めたアコースティックバンド「サンドイッチ・カッターズ」の演奏が始まると、そのきらびやかな演奏や美しい歌声のハーモニーに乗せられ、自然と手足や体でリズムをとる人も。

シンガー・ソングライターであり同バンドのメンバーでもある町出身のアーティスト相川理沙さんは、「とても気持ちの良いライブでした。来年の宇美町100周年をお祝いするために、これから出来ることに取り組んでいきたい。」と笑顔でコメントしていました。



▲ライブ会場の様子

## 町民文化のつどいが 開催されました

5月11日(土)、12日(日)に、中央公民館と住民福祉センターで「第40回宇美町町民文化のつどい」が盛大に開催されました。

舞台発表の部では、記念すべき40回目のつどいを祝う祝舞や、すばらしい演奏、ダンスなどが披露され、最後は出演者と来場者による総踊りで締めくられました。

作品展示の部では、絵画や工芸、書や写真など、多種多様な作品が展示されました。また、実際に芸術文化にふれることができる体験コーナーやお茶席は、子供から大人まで多くの来場者でにぎわっていました。



▲祝舞

▲体験コーナー

## 新任民生委員に委嘱状が 交付されました

5月1日付で、早見自治会(宇美中央1・4丁目担当)の川口浩さんが民生委員・児童委員として厚生労働大臣から委嘱を受けられました。

民生委員・児童委員は、地域の方々の身近な相談相手として活動し、さまざまな問題を解決する機関へとつなぐ「パイプ役」としても必要な支援を行っています。地域の民生委員に関する事は福祉課までお問い合わせください。

問 福祉課 福祉係 ☎934-2278



▲委嘱状を受けられた川口さん

## 新任保護司に委嘱状が 交付されました

3月28日付で、河崎勉さんが法務大臣から委嘱をうけられ保護司として活動することになりました。

保護司は、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える民間のボランティアです。保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員として保護観察官と協働して保護観察に当たります。



▲委嘱状を受けられた河崎さん

## 中学校体育会、小学校運動会 が開催されました

5月19日(日)、町内3中学校で体育会が行われました。宇美中学校体育会の今年度のテーマは「打破」。毎年恒例の「宇美中ソーラン2019」では、全生徒が凛々しい表情で華麗な演舞を披露しました。

26日(日)には、町内5小学校で運動会が行われ、原田小学校では4年生による横綱引や、6年生のバトンリレーなど、白熱した競技に会場全体が盛り上がりいました。



▲宇美中

▲原田小